（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立此花区民ホール
施設所管課・担当	此花区役所　地域サポート課（地域サポート担当）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与すること。（区役所附設会館条例第２条第１項）
業務の概要	（１）貸館運営業務 （２）施設総合管理業務 （３）地域のコミュニティ振興に寄与する事業
成果指標	施設利用率／利用者満足度
数値目標	70%以上／80%以上
指定管理者名	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月３１日
評価対象期間	令和７年４月１日　～　令和８年３月３１日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	施設利用率	利用者満足度
数値目標	70%	80%
年度実績	67.20%	100.0%
達成率	96.0%	125.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	109,747	103,041	6,706
稼働率	67.2%	67.1%	0.1%

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	24,988,333	24,480,628	1,402,796	エネルギーコスト及び人件費の高騰
	計画	23,585,537	23,167,296		
利用料金収入	実績	7,809,610	7,887,630	-160,390	接客サービス向上によるリピーターの増加等で稼働率増加しているも収入について微減となった。
	計画	7,970,000	7,883,600		
その他収入（自主事業収入）	実績	3,175,725	2,650,070	778,725	講座の増加による利用者増加
	計画	2,397,000	2,274,000		
合計	実績	35,973,668	35,018,328	2,021,131	
	計画	33,952,537	33,324,896		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	20,348,149	20,076,843	1,787,600	最低賃金上昇等による人件費増
	計画	18,560,549	18,289,243		
物件費	実績	14,375,911	11,934,893	1,380,923	エネルギー使用料金の価格高騰などによる増
	計画	12,994,988	10,291,278		
その他事業費（自主事業支出）	実績	3,122,298	2,588,090	725,298	開催年である関西万博に関する情報発信を行う事業を行った。
	計画	2,397,000	2,470,375		
合計	実績	37,846,358	34,599,826	3,893,821	
	計画	33,952,537	31,050,896		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率70%以上	96.0%	B	接客サービス向上によるリピーターの増加及びインターネット予約の活用による利用者増。
利用者満足度80%以上	125.0%	S	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
電力自由化に伴う契約先の等の見直しや、節電対策を実施しており、光熱水費の縮減に努めている。	B	半世紀を迎える施設のため設備が老朽化しているなか、エネルギー単価が上昇している状況において契約方法の見直しを行うなど縮減に努めている。

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	施設が古く設備が老朽化しているため、館内清掃を徹底して行い利用環境の向上を図っている。また、利用者に対して丁寧な応対に努めていることから、アンケート結果において肯定的な意見がほぼ１００％である。
	事業計画の実施状況	A	年間を通じて事業計画に基づき幅広い世代を対象とした内容で実施している。 自主事業について、昨年度からの「このはなアートフェス」を開催し、500名以上の参加となっている。 特に大阪・関西万博開催年であることから写真展を開催し延べ９００名が訪れ、此花区内外からの来館者との交流が行われた。各種事業についても多様な地域団体と協働し、地域コミュニティの振興に多大に寄与している。
	施設の有効利用	A	地域との信頼関係が構築されており、自主事業について伝統行事の継承に取り組む地域住民と新たにその地域の住民との橋渡しの機会を設けるなど住民参加の事業が展開されている。 誰もが参加できるよう、わかりやすい内容、多様性を汲んだ講習会等を実施している。 他の附設会館にはない音響機材が揃えられており、音楽イベントに関する要望に応えるとともに、各地域のイベントに出向き音響サポートを行うなど地域への貢献を行っている。
社会的責任・市の施策との整合性		B	法令等に基づき、標準とおり事務が進められていた。

5　利用者ニーズ・満足度等

【調査方法】
アンケート形式
【調査期間】
令和7年11月初旬～令和7年12月半ば
【回答数】
　106団体
【質問項目】
①予約手続きの満足度　②スタッフ対応の満足度　③清掃状況への満足度　④備品や設備への満足度　⑤ホームページのわかりやすさ
【結果】
実施した調査において、スタッフ対応の満足度、清掃状況への満足度は99%となっており、無回答を除けばスタッフ対応の満足度はほぼ100%であることからも、顧客満足度の維持向上に向けた取り組みが高く評価できる。また、ICT化による利便性にかかる利用者のニーズを調査する等、より一層の顧客満足度向上への姿勢がみられる。
昨年度から引き続き高い満足度が継続できている。加えて、アンケート調査における利用者からの意見等に迅速に対応し、その結果についてもホームページで公表されており評価に値する。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

6　外部専門家意見

毎月、地域の様々な団体における次世代の担い手が中心となり、ラウンドテーブルを実施しまちづくりに貢献している。また、大阪・関西万博をテーマとした写真展の開催等を通じて、団体間の連携促進に努め、横断的なネットワークの構築につながる取組が実践されており、地域コミュニティの活性化に資する取組として高く評価できる。 また、アンケート調査結果について、とても見やすく書かれており評価しやすい。スタッフ対応や清掃状況等満足度が高いことから指定管理者の努力が感じられ他の評価事項に埋もれることなく適切に評価されることが望まれる。 概ね評価に問題はない。

7　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 施設の管理運営 事業計画の実施状況 施設の有効利用 社会的責任・市の施策との整合性	B+	事業計画に基づき幅広い世代を対象とした内容で事業実施しており、自主事業の開催だけでなく多くの地域連携事業へ協力・参画をしている。また、大阪・関西万博の開催にあたり、多様な地域団体の参画・協力を得ながらイベント等を実施している事から評価できる。
総合評価	B	